Number		itory of Academic resouces				
### Author Publisher Publisher Publisher Publisher Publisher Publisher Publication year United 中海 新典学 学事振興資金研究成果実績報告書(2017.)  JaLC DOI	Title	歴史民俗調査成果のGISデータ化と教育へのフィードバックに関する研究				
Publication year  Julie 2018  JaiC DOI  Abstract						
Publication year						
Julie 学事振興資金研究成果集積報告書(2017.)  Abstract 本研究ではスマートフォン、タブレットを利用してフィールドワークを行い、その結果得られた情報に基づいて、町、村などの過去の人々の書みの場合、GISLでわかりやする、プレいくことを目標とした。そのため、Windows、Android、iPhoneの各のS上で国作する、無料のソフトウェアを使用し、敷屋の低い、誰でも使える環境構築を目指した。まず、主に3つの場所で行ったフィールドワークの成果について、説明したい。言古島・伊良部島においては、坂球国由来記に歳を25の御噺について、GIS以力を伴う実地管を行った。DSL上に落とすことができた。状体回古島の北部、平家の第人伝承が残る対保集策においては、集落を守る石室の変遷や御嶽の場所について、GISよりな任う実地管をそうことは35に上で落とったができた。状体回ち島の北部、平家の第人伝承が残る対保集策においては、集落を守る石室の変遷や御嶽の場所について、GISよりな任う実地管をそうったとしまって、生活・信仰の場としてのイメージをわかりやする可能のは復することができた。この系図と現をれた地名や立耳の経緯を考え合わせることができた。この系図と現された地名や立耳の経緯を考え合わせることができた。この系図と現された地名や立耳の経緯を考え合わせることによって、集落内成り立ちについての記録とで立ることができた。また、北部能下、ま出、一冊形弦の調査とおいては、正弦の確定を進める犬に、中世以来の古道の階章を行い、多くの地名を検出した。特に登出地区において、正安検技能に蒙る地名を複数やはできたことによって、検注順路の復原が可能な段階となった。日吉板区においては、近世・近代の村落素観のイメージを復原していくことに注力し、その規集をまとめることができた。教育面においては、これまでの研究結果の蓄積を元に、来年原3年は内での変投機業を開端することとなった。ここでは、人文学と情報学の融合を目指し、生徒にはテキストや地図をデジタル化することがたな知見を得てもらうことを目標としている。この検集において取り上げるフィールドは、沖縄や兵庫県間壁地域、大いな日は一般では日本間の立場といよい、地域は100年の日からのGIS by using free software that rus on Windows、Android and iPhone operating system・I would like to briefly explain the research outcome conducted in the following three areas: Myakojima, Vano manor, and Hiyoshi area。With regard to Miyakojima and Irabujima, Vano manor, and Hiyoshi area。With regard to Miyakojima and Irabujima, wa for mon GIS as they used to be in the remote past. Particularly, in the northern part of Miyakojima, where the lost Tradition of the helice remains, the original image of life and belief of the local people was illuminated as a result of meticulous exploration on the transition of stone base protecting the village and places of Utakis penalogy links to a variety of felde names in the locality and the history of manor establishment has made it possible to have a clear idea about the history of the village. Moreover, we carried out another survey in Northern area. Nofte, Kamade and Futatsugaino districts and interviewed the local people was newly discovered which is still rotted deepty in the minds of the local people. Careful consideration as to						
本研究ではスマートフォン、タブレットを利用してフィールドワークを行い、その結果得られた情報に基づいて、町・村などの過去の人々の含みの場を、GIS上でわかりやすく示していくことを目標とした。そのため、Windows、Android、Phoneの各のS上で動情でする、無料のソフトウェアを使用し、最悪の低い、誰でも使える環境構築を目指した。まず、主に3つの場所でつたフィールドワークの成果について、説明したい。宮古島・伊良部島においては、琉球国由来記に戴る25の樹獣について、ほぼ斑在地を特定し、GIS上に落くすことができた。特に西島の北部、平京の長人伝達が残る対保美策においては、東落を守る石堂の変遣や樹獣の場所について、GIS入力を伴う実地樹蓋を行うことによって、失野狂地地においては、若狭野両内地区の調査をほぼ終了し、現地に伝存した新出の系図を発見することができた。この表別と残された地名や立ていての見るしたまって、大野狂地地においては、若狭野両内地区の調査をほぼ終了し、現地に伝存した新出の系図を発見することができた。この表別と残された地名や立王の経緯を考え合わせることによって、集体の別立ちについての見通しを立てることができた。また、は部部下、釜出、一桁野地区の調査においては、江地の確定を進める共に、中世以来の占道の職査を行い、多くの地名を検出していての見通しを立てることがこきた。また、こま部に下、釜出、一桁野地区の調査においては、近年、近代の指定を進める共に、中世以来の占道の職査を行い、多くの地名を検出していて、は他気出地区において、近半なの確定を進める共に、中世以来の占道の職査を行い、多くの地名を検出できた。といまでは、大学に関係の復度が可能な段階となった。日吉地区においては、近地・近代の付着発験のイメージを復原していくことに注し、その成果をまとめることができた。教育面においては、これまでの研究結果の蓄積を元に、米年度9年生向けの選択授業を開議することとなった。ここでは、人文学と情報学の融合を目指し、生在にはテキストや地図をデジタル化することがまた。現代を得る行ちらことを目標としている。この授業において取り上であって小小ドは、沖縄や長海で長行もらうことを目標としている。この授業においては、これまでの研究結果の表に表している。この授業において取り上であって小小ドは、沖縄で見においていまのはいけでいるのはいはは、それはいまのはいまがはいまのはいまがはいまのはいまがはいまいまのはいまがはいまいまではいまでは	•					
本研究ではスマートフォン、タブレットを利用してフィールドワークを行い、その結果得られた情報に基づいて、町・村などの過去の人々の営みの場を、GIS上でわかりやすく示していく、ことを目標とした。そのため、Windows、Android、Phoneの各OS上で動作する、無料のソフトワエアを使用し、敷居の低い、誰でも使える環境機会を目指した。まず、主に3つの場所で行ったフィールドワークの成果について、ほぼ現在地を特定し、GIS上に落とすことができた。特に宮古島の北部、平家の落人伝承が残る狩保集落においては、珠尾面由非記に載る25の御飯について、ほぼ現在地を特定し、GIS上に落とすことができた。特に宮古島の北部、平家の落人伝承が残る狩保集落においては、珠尾面自由来記に載る25の御飯について、GIS入力を伴う実地構査を行うことによって、生活・信仰の場としてのイメージをわかりやすく可視的に復原することができた。矢野荘放地においては、若狭野雨内地区の関連をほぼ終了し、現地に伝存した新出の系図を発見することができた。この系図と残された地名や立荘の経域を考え合わせることによって、集落の成り立ちについての見通しを近することができた。また、北部能下、金出、二柏野地区の関連をしていての見通しを立てることができた。また、北部能下、金出、二柏野地区の観音とおいては、荘峨の確定を進める共に、中世以来の古道の踏査を行い、多くの地名を検出した。特に窓出地区において、正安検注帳に載る地名を複数検出できたことによって、検注順路の復厚が可能な段階となった。日市地区においては、近世~近代の特別条機のイメージを復原していくことに注力し、その成果をまとめることができた。。教育面においては、江世へ近代の特別条を開ますることがなりまた。教育面においては、江世へ近代の特別条を観のイメージを復原していることを目標としている。人学意味を自分の選択授業を開講することとなった。ここでは、人文学と情報学の融合を目指し、生徒にはテキストや地図をデジタル化することがまた。ここでは、人文学と情報学の融合を目指し、生徒にはテキストや地図をデジタル化することがまた。ここでは、人文学と情報学の融合を目指し、そして身近に対している。この授業において政以上げるフィールドは、沖縄や兵庫県播磨地域、マレて身近な日本のよりといまが見からでは、中間ではのは内が内が内が内が内が内が内が内が内が内が内が内が内が内が内が内が内が内が内		学事振興資金研究成果実績報告書 (2017.)				
その結果学のよいた情報に基づいて、町・村本との過去の人々の営みの場を、GIS上でわかりやすくぶしていることを目標とした。そのため、Windows、Android、Phoneの各OS上で動作する。無料のソフトウェアを使用し、敷居の低い、誰でも使える環境構築を目指した。まず、主に3のの場所でつったフィールドワークの成果について、説明したい。宣古島・伊良部島においては、現球国由来記に載る25の御数について、ほぼ現在地を特定し、GIS上に落とすことができた。特に宮古島の1部。平家の落人伝承が残る好像集落においては、集落を守る石塁の変遷や御数の場所について、GIS入力を伴う実地踏査を行うことによって、生活・信仰の場としてのイメージをわかりやすく可視的に復原することができた。矢野荘故地においては、若狭野雨内地区の調査をほぼ終了し、現地に伝存した新田の系図を発見することができた。この天図と残された地名や立正わば機を考え合わせることによって、集落の成り立ちについての見遇しを立てることができた。より芸故地にあいては、若狭野雨内地区の調査をはび終了し、現地に伝存した新田の系図を発見することができた。この天図と残された地名や立正的経機を考え合わせることによって、集落の成り立ちについての見遇しを立てることができた。また、北部能下、釜出、二柏野地区の調金さ品いては、王坂の領定を進める共に、中世以来の古道の踏査を行い、多くの地名を検出した。特に釜出地区において、正安検注帳に載る地名を建設検出できたことによって、検注順路の復原が可能な段階となった。日吉地区においては、近世〜近代の村海景観のイメージを復原していることで決し、その成果をまとめることができた。教育面においては、これまでの研究結果の蓄積を元に、来年度3年生向けの選択授業を開議することとなった。ここでは、人文学と情報学の融合を目指し、生徒にはテキストや地図をデジタル化することがたな知らを省でもらうことを目標としている。この授業において取り上げるフィールドは、沖縄や兵庫県播磨地域、そして身近な日吉周辺を想定している。この授業において取り上げるフィールドは、沖縄や兵庫県播港地域、そして身近な日吉周辺を想定している。ので残まにおいて取り上げるフィールドは、対路のは、中枢中の中ではは、対路の時では、対路の時では、日本の中	JaLC DOI					
		Research on historical folklore research results GIS data and feedback on education 高橋、傑(Takahashi, Suguru) 腹應義数大学  2018 学事振興資金研究成果実績報告書 (2017.) 本研究ではスマートフォン、タブレットを利用してフィールドワークを行い、その結果得られた情報に基づいて、町・村などの過去の人々の営みの場を、GIS上でわかりやすく示していくことを目標とした。そのため、Windows, Android、Phoneの各のS上で動作する。無料のソフトウェアを使用し、敷居の低い、誰でも使える環境構築を目指した。まず、主に3つの場所で行ったフィールドワークの成果について、説明したい。宮古島・伊良部島においては、琉球国由来記に載る25の御嶽について、認明したい。宮古島・伊良部島においては、琉球国由来記に載る25の御嶽について、ほぼ現在地を特定し、GIS上に落とすことができた。特に宮古島の北部、平家の落人伝承が残る狩候集落においては、珠落を守る石墨の変遷や御嶽の場所について、GIS入力を伴う実地踏をを行うことによって、集落を守る石墨の変遷や御嶽の場所について、GIS入力を伴う実地踏をそ行うことによって、は活・信仰の場としてのイメージをわかりやすく可視的に復原することができた。矢野荘故地においては、若狭野雨内地区の調査をほぼ終了し、現地に伝存した新出の系図を発き落ることができた。また、北部氏・釜出、二十一部地区の調査においては、活状野雨内地区の調査をほぼ終了し、現地に伝存した新出の系図を発き落の成り立ちについての月週心を立てることができた。また、北部氏・釜出地区においては、正球の確定を進める共に、中世以来の古道の踏査を行い。多くの地名を検出した。特に差出地区において、江世・近代の村落景観のイメージを復原していくことに注力し、その成果をまとめることができた。教育面においては、これまでの研究結果の蓄積を元に、来午度3年生向けの選択授業を開議することとなった。ここでは、人文学と情報学の融合を目生性にはテネストや地図をデジタル化すること新たな知見を得てもらうことを目標としているこの授業においては、これまでの研究結果のではいまいまいまいまいまいまいまいまいまいまいまいまいまいまいまいまいまいまいま				
	Notes					

Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2017000002-20170338

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって 保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

# 2017 年度 学事振興資金(共同研究)研究成果実績報告書

研究代表者	所属	普通部	職名	教諭	補助額	830 =	千円
	氏名	高橋 傑	氏名 (英語)	Suguru Takahashi			710

#### 研究課題 (日本語)

歴史民俗調査成果の GIS データ化と教育へのフィードバックに関する研究

#### 研究課題 (英訳)

Research on historical folklore research results GIS data and feedback on education

研究組織				
氏 名 Name	所属・学科・職名 Affiliation, department, and position			
高橋 傑(Suguru Takahashi)	普通部·教諭			
那波克哉(Katsuya Naba)	普通部·教諭			

### 1. 研究成果実績の概要

本研究ではスマートフォン、タブレットを利用してフィールドワークを行い、その結果得られた情報に基づいて、町・村などの過去の人々の営みの場を、GIS 上でわかりやすく示していくことを目標とした。そのため、Windows、Android、iPhone の各 OS 上で動作する、無料のソフトウェアを使用し、敷居の低い、誰でも使える環境構築を目指した。

まず、主に3つの場所で行ったフィールドワークの成果について、説明したい。宮古島・伊良部島においては、琉球国由来記に載る25の御嶽について、ほぼ現在地を特定し、GIS上に落とすことができた。特に宮古島の北部、平家の落人伝承が残る狩俣集落においては、集落を守る石塁の変遷や御嶽の場所について、GIS入力を伴う実地踏査を行うことによって、生活・信仰の場としてのイメージをわかりやすく可視的に復原することができた。

矢野荘故地においては、若狭野雨内地区の調査をほぼ終了し、現地に伝存した新出の系図を発見することができた。この系図と残された地名や立荘の経緯を考え合わせることによって、集落の成り立ちについての見通しを立てることができた。また、北部能下、釜出、二柏野地区の調査においては、荘域の確定を進める共に、中世以来の古道の踏査を行い、多くの地名を検出した。特に釜出地区において、正安検注帳に載る地名を複数検出できたことによって、検注順路の復原が可能な段階となった。

日吉地区においては、近世~近代の村落景観のイメージを復原していくことに注力し、その成果をまとめることができた。

教育面においては、これまでの研究結果の蓄積を元に、来年度 3 年生向けの選択授業を開講することとなった。ここでは、人文学と情報学の融合を目指し、生徒にはテキストや地図をデジタル化すること新たな知見を得てもらうことを目標としている。この授業において取り上げるフィールドは、沖縄や兵庫県播磨地域、そして身近な日吉周辺を想定している。

## 2. 研究成果実績の概要 (英訳)

In this research, we conducted fieldwork with the aim of restoring the landscape of the past people on GIS by using free software that runs on Windows, Android and iPhone operating system.

I would like to briefly explain the research outcome conducted in the following three areas: Miyakojima, Yano manor, and Hiyoshi area. With regard to Miyakojima and Irabujima, we found out the locations of most of the ancient 25 Utaki mentioned on Ryukyu koku yuraiki, Ryuku Kingdom Origin, and dropped them on GIS as they used to be in the remote past. Particularly, in the northern part of Miyakojima, where the lost tradition of the Heike remains, the original image of life and belief of the local people was illuminated as a result of meticulous exploration on the transition of stone base protecting the village and places of Utaki.

Regarding the Yano manor, extensive research was done concerning the areas inside the Wakasano Amauchi and a genealogy was newly discovered which is still rooted deeply in the minds of the local people. Careful consideration as to how this genealogy links to a variety of field names in the locality and the history of manor establishment has made it possible to have a clear idea about the history of the village. Moreover, we carried out another survey in Northern area, Nohge, Kamade and Futatsugaino districts and interviewed the local people about ancient roads built in and after Middle Ages as well as their close investigation. As an outcome of these studies, we discovered geographical names which had not been in maps.

In the district of Hiyoshi, great emphasis was put on studying the change in the village landscapes and, based on the information obtained by the study, we restored the modern-time village landscape.

Finally, as one of the implications of the research results, it was decided to offer an elective course for the third graders of Keio Futsubu School. With the aim of integrating humanities and informatics, the goal is to have students obtain new knowledge by digitalization of texts and maps. The fields covered in the course are Okinawa, Harima area in Hyogo Prefecture and Hiyoshi area, familiar to the students.

# 3.本研究課題に関する発表発表者氏名 (著者・講演者)発表課題名 (著書名・演題)発表学術誌名 (著書発行所・講演学会)学術誌発行年月 (著書発行年月・講演年月)高橋 傑東京近郊の里山が辿った歴史結城正美・黒田智編『里山という物 記』(勉誠出版)2017 年 6 月 30 日